教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	１単位
学年	第　４　学年		男子　　3名　　女子　　1名　　計　４　名		
教科担任氏名	堀内　佳幾		使用教科書	東京書籍　国語表現	
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

評価の観点	趣　　旨	配　分
関心・意欲・態度	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	２０％
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	２０％
書く能力	・相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	２０％
読む能力	・文章を読み、書き手の意図を的確に読み取りその中に込められた表現の特色、技術等を理解できる。	２０％
知識・理解	・言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。	２０％

月	時間数	学　習　内　容	関・意・態	話・聞能力	書く能力	読む能力	知識・理解	評価方法
４	２	（1）「表現」すること ・様々な表現の例 ・新聞記事を読む	○		○	○	○	作文
５	５	（2）「情報」を集める ・情報の整理 ・自分の意見を持つ	○	○		○	○	作文
６	４	・意見を表現する（文）						
７	３	（3）「説明」する ・自分の愛読書をさがす	○	○	○		○	口頭発表
８	２	・愛読書を紹介する（発表）						
９	４	（4）古典の表現に学ぶ ・文語と口語の違いを確認する	○				○	発表 作文
１０	４	・日本語の特徴について考える	○		○	○	○	観察
１１	３	（5）新聞記事を読む ・様々な新聞記事の表現を読み、意見を知る。	○		○	○	○	作文

１２ １	３ １	（6）自分の考えを表現する ・高校を卒業するにあたって			○			作文